

新潟県の地震概況 令和7年(2025年)9月

令和7年10月14日

新潟地方気象台

【9月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（最大は震度1）でした。このうち、新潟県とその周辺（図1）で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。（「期間内に発生した主な地震」を参照）

【9月に新潟県周辺で発生した地震】

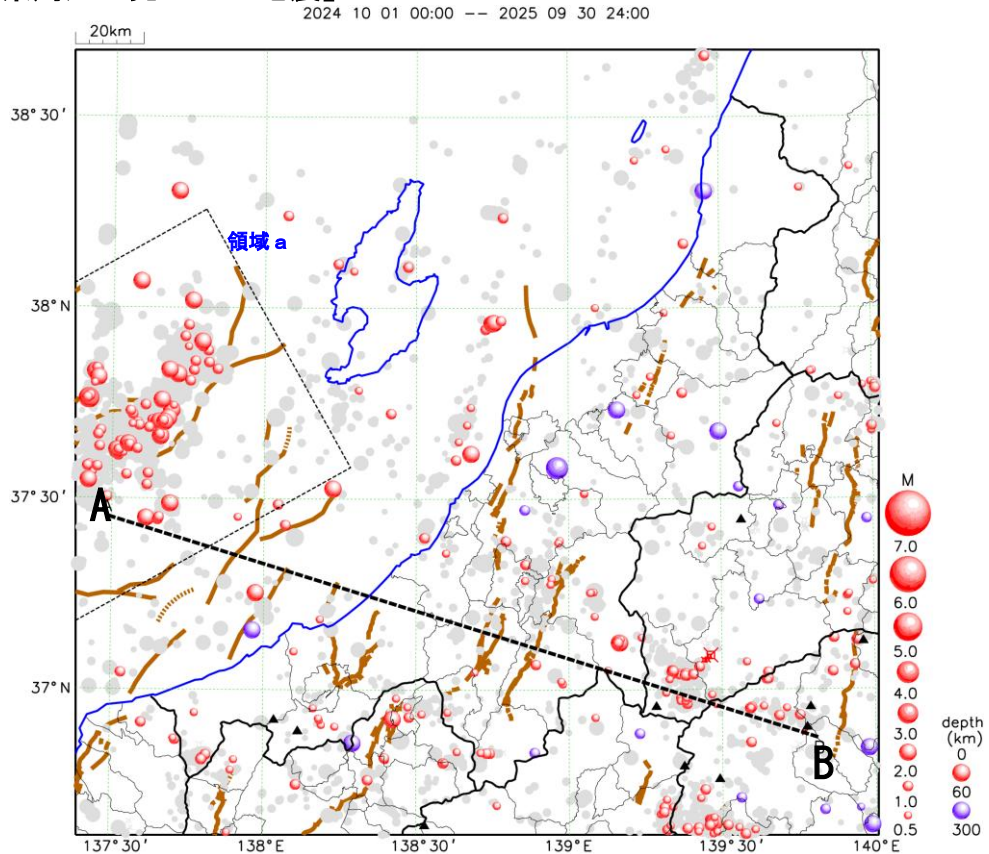


図1 震央分布図（深さ0～300km、M0.5以上）

※過去1年間の地震を表示。令和7年9月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

※領域 a は令和6年能登半島地震の活動域を示す。

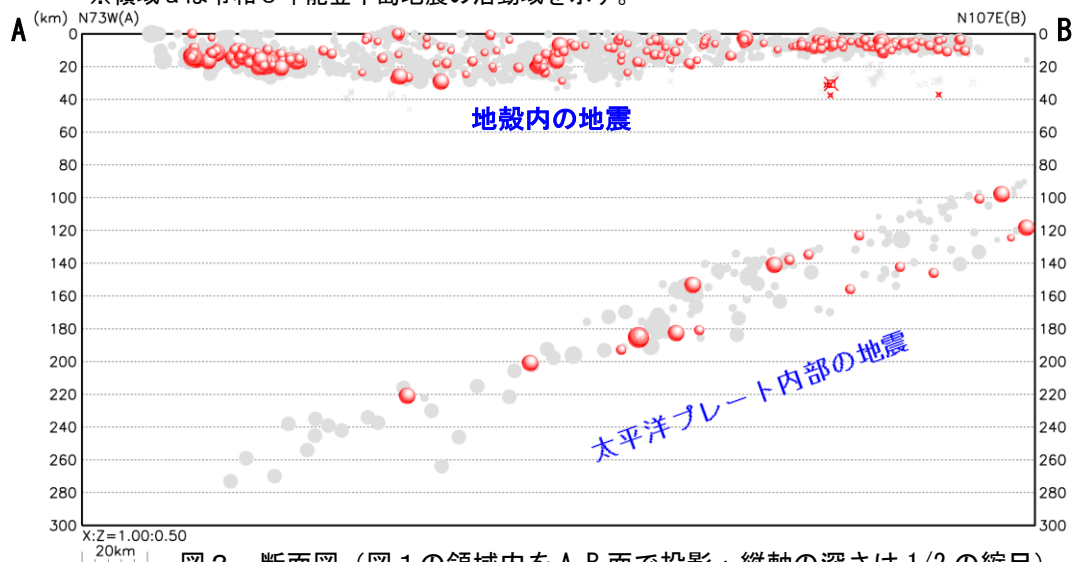


図2 断面図（図1の領域内をA-B面で投影：縦軸の深さは1/2の縮尺）

【期間内に発生した主な地震】

○ 県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。

○令和 6 年能登半島地震

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発になっており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2024 年 1 月にM7.6の地震が発生しました。M7.6 の地震の活動域では、地震活動が低下してきているものの、依然として継続しています。

9 月中の最大規模の地震は、8 日08時24分に発生したM4.5の地震（最大震度 3）です。震度 1 以上を観測した地震は 8 回^(注1) で、その内、新潟県で震度を観測した地震は 1 回でした。

① 8 日08時24分 石川県能登地方の地震（M4.5、深さ13km）により、石川県で震度 3 を観測したほか、北陸地方及び岐阜県で震度 2 ～ 1 を観測しました。新潟県内では上越、中越で震度 1 を観測しました。

注 1）震度 1 以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

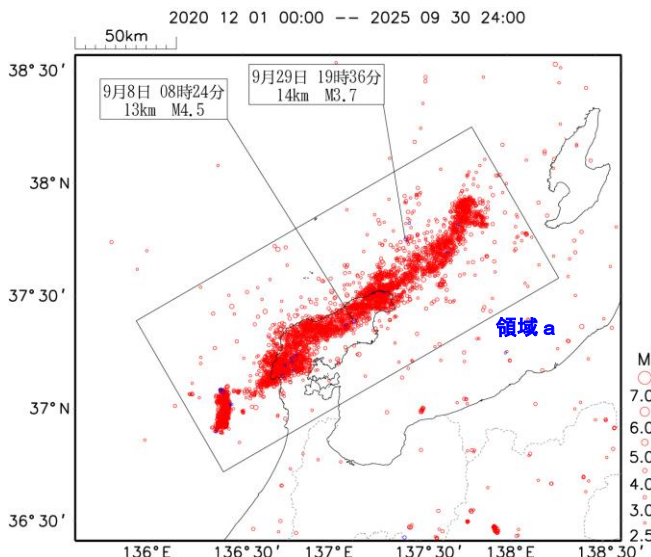


図 3 震央分布図（深さ 0～30km、M2.5 以上）

- ・ 図 3 の吹き出しは 2025 年 9 月に発生した、最大震度 3 以上の地震又は M3.5 以上の地震
- ・ 図 4 の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・ 2020 年 12 月～2025 年 8 月に発生した地震を赤色、2025 年 9 月を青色で示した

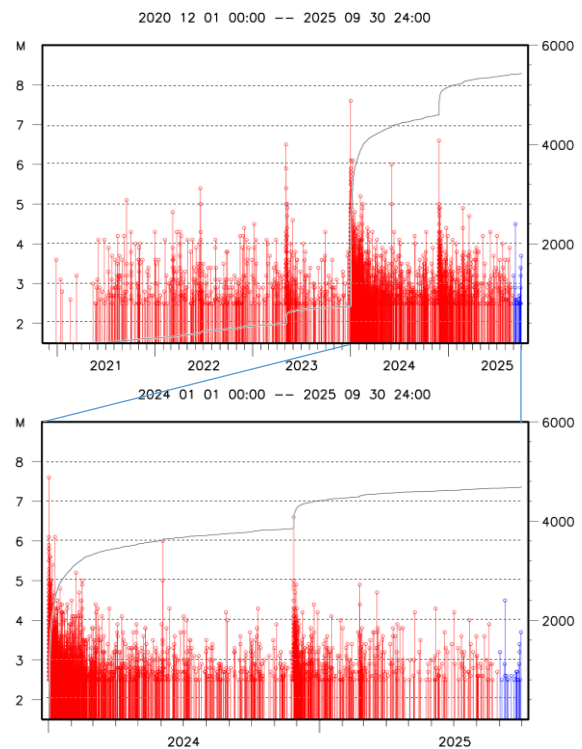


図 4 図 3 の領域 a 内の活動経過図及び回数積算図

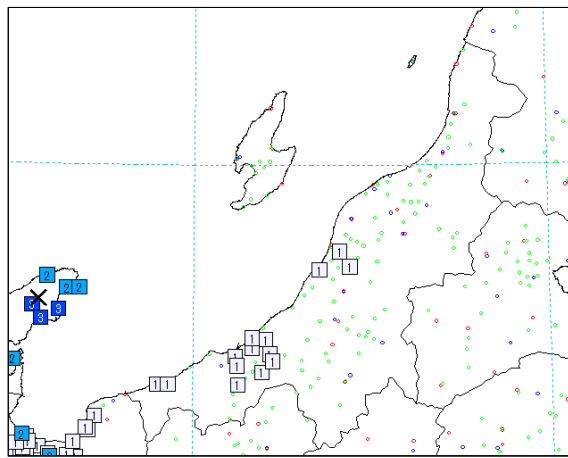
【新潟県内で震度 1 以上を観測した地震】 期間 2025年 9 月 1 日～2025年 9 月30日

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 * は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2025年09月08日08時24分	石川県能登地方	37° 23.8' N	137° 08.0' E	13km	M4.5	3
震度 1 : 糸魚川市大野*, 糸魚川市青海*, 上越市大手町, 上越市木田*, 上越市安塚区安塚*, 上越市蒲川原区釜淵*, 上越市牧区柳島*, 上越市大潟区土底浜*, 上越市頸城区百間町*, 上越市吉川区原之町*, 妙高市田町*, 長岡市寺泊敦ケ曽根*, 長岡市中之島*, 出雲崎町米田						

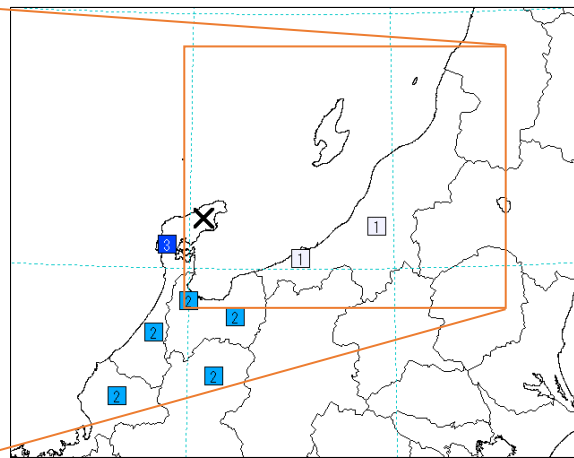
【震度分布図】

図中 ○ は震度観測点を示す

① 8日08時24分 石川県能登地方の地震 観測点別震度分布図



地域別震度分布図



凡例
 4 震度4
 3 震度3
 2 震度2
 1 震度1
 × は震央

【新潟県内で最大震度1以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2024 年			2025 年									
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
震度1	3	6	4	1	1	3	4	1	0	3	0	1	27
震度2	0	0	0	1	1	0	3	1	0	2	2	0	10
震度3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
震度4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	7	4	3	2	4	7	2	0	5	2	1	40

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

○ 2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、平成16年(2004年)新潟県中越地震から20年という、災害の発生から節目の年でした。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がりました。<https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

気象台ではこの活動に参加し、取組の一つとしてこれらの特設サイトを開設し、皆様にご利用いただいておりますが、プロジェクトが総括され気象台の取組も終了しました。

なお、作成しておりましたサイトは、引き続き皆様にご利用頂きたいと、別途入口を設けました。

過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/2024project_link.html

【令和6年能登半島地震の各種資料】

○ 令和6年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和6年1月 地震・火山月報(防災編)に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- ・資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

11月5日に緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、緊急地震速報の訓練を
令和7年11月5日(水)10時00分頃に実施します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練を通して実際に行動をとり経験することが重要です。

緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するための全国的な訓練を、内閣府、総務省消防庁及び気象庁は、平成20年度より年2回、国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。

今年度2回目の訓練は、「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、令和7年11月5日(水)に実施しますので、自分の命を守るために積極的にご参加ください。

なお、気象庁は訓練の実施を計画している機関や団体等に対して訓練用の緊急地震速報(予報及び警報)を配信しますが、基本的に、テレビやラジオ、携帯電話(スマートフォンを含む)の緊急速報メール/エリアメールで訓練用の緊急地震速報が放送又は報知されることはありません。

11月5日は
津波防災の日

※緊急地震速報の訓練は、新潟県及び各市町村の防災訓練等でも実施する事があります。緊急地震速報を見聞きした場合、どのように身を守る行動をとるのか、日頃から考えておきましょう。

緊急地震速報が発表されたら

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- スロッキン倒壊の危険に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



詳しくは気象庁 HP 緊急地震速報訓練特設サイトにてご確認ください

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/ee/kunren/2025/kunren.html>